

温泉

中部山岳国立公園の南部には、温泉（オンセン）施設のある集落が点在しています。これらの施設の多くのお湯は、火山である焼岳や乗鞍岳の地熱活動で自然に温められたものです。泉質には自然な差異があり、各温泉郷は特定のタイプのお湯を専門に扱っています。また、湯船に使用される素材にも違いがあり、しばしばヒノキや地元の岩石が選ばれます。したがって、幅広い入浴体験を楽しむことができます（下記参照）。

入浴する人は、日本の公衆浴場を利用する場合は常にそうですが、施設で温泉の湯に浸かる前にシャワーを浴び、十分に身体を洗う必要があります。入浴は裸で男女別々ですが、施設によっては混浴が可能なのところもあります。

白骨温泉

白骨温泉のお湯は水中のカルシウムと硫黄の濃度が非常に高いため乳白色をしています。言い伝えでは白骨のお湯に三日間浸かった人は三年間風邪をひかないと言われています。集落のあちこちに設置された竹製の吐水口を通して供給される源泉のお湯はそのまま飲むことができ、摂取することで胃腸障害に効果があると言われています。

のりくら温泉郷

のりくら温泉郷は乗鞍高原に位置し、その多くの温泉は三つの源泉を利用しています。最も古い源泉、乗鞍高原温泉から供給されるお湯は濁っており、きつい硫黄の匂いがします。また、このお湯にはその酸性度に由来する抗菌作用とわずかな酸味があります。

沢渡温泉

沢渡温泉は安房トンネルの工事中に地下温泉が発見されたことを受けて 1998 年に開発され、この地域で最も新しい温泉郷の一つになりました。その弱アルカリ性のお湯はとても熱く、同じ温泉源によって供給される無料の公共足湯が村の中心部にあります。

上高地温泉

有名な作家たちが上高地の梓川右岸に位置する二つの温泉リゾートをたびたび訪れたということが知られています。これらのリゾートは後に幾つかの著名な日本文学作品の中で言及されています。

平湯温泉

平湯温泉では四十の異なる源泉がお湯を供給しています。これらの源泉のひとつひとつは、異なる特性を持つさまざまな天然鉱物を含んでいます。そのため、この温泉郷のお風呂はどの源泉が供給源となっているかによってみな異なり、各施設は独自の温泉水に誇りを持っています。

新穂高温泉

新穂高の施設の多くは蒲田川沿いにあります。この温泉の高温のお湯は澄んでいて、アルカリ性です。新穂高温泉は周囲の山々の眺望を楽しめる露天風呂が多いことで人気があります。